

# 日赤あおもり



**青森県支部**  
日本赤十字社

日本赤十字社青森県支部 〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号 TEL 017-722-2011 <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>

赤十字会員増強活動資金増収運動実施しています。

## 赤十字は、動いてる! + SAVE 365

Japanese  
Red Cross Society

あなたと想いをひとつにして。  
赤十字は、あなたとともに動きます。



赤十字活動にご支援をお願いします。

日本赤十字社青森県支部は、災害・紛争などからいのちを守り、苦痛を軽減する活動をはじめ、平時は教育現場や自治会などで防災・減災の講習会やボランティア活動などを展開しています。

こうした活動は、毎年2月から自治会・町内会などの赤十字ボランティアが戸別訪問させていただき、寄せられた会費や寄付金によって支えられています。

本年も引き続き、県民の皆さまのあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。



赤十字の活動は、県内すべての地域に届くよう、市町村に赤十字の事務局を置き、町内会や学校、公的機関などと協力しながら計画的に実行っています。そのため、自治会や町内会の方々にも戸別訪問をお願いする場合があります。

### ☑会員として協力

会費として年額2,000円以上をご協力される方。日本赤十字社の運営に参画することができます。詳しくは、次ページをご確認ください。

### ☑協力会員として協力

目安として年額500円以上のご協力により、日本赤十字社の活動をご支援いただく方。

### ☑寄付者として協力

寄付金としてご自身が定める金額のご協力により、日本赤十字社の活動をご支援いただく方。



クレジットカードや口座振替など、さまざまなご協力方法があります。二次元コードからご確認ください。

赤十字会員・寄付の募集に関するお問合せは

ホームページで 日本赤十字社  
青森県支部 検索  
<https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>



お電話で ○日本赤十字社青森県支部  
017-722-2011 総務課まで  
○もよりの市役所、町村役場の日赤担当窓口まで  
(弘前市、西目屋村、板柳町、七戸町は社会福祉協議会)



担当者と直接 ○日本赤十字社青森県支部  
青森市長島1丁目3番1号日赤ビル(青い森公園隣)  
総務課まで  
○もよりの市役所、町村役場の日赤担当窓口まで  
(弘前市、西目屋村、板柳町、七戸町は社会福祉協議会)

**TEAM  
SAVE 365 一緒になら、救える。**

日本赤十字社の活動は、皆様の寄付によって支えられています。

**日本赤十字社 青森県支部**  
Japanese Red Cross Society

# 赤十字会員増強活動資金増収運動実施しています。

## ご寄付の活かし方 青森県支部の令和5年度歳出(一般会計)の報告

令和5年度の歳出合計は、2億6098万3千円で歳入合計と同額となりました。

歳入合計の内訳は、皆さまから託されたご寄付が2億1491万8千円(うち、県民の皆さまから託されたご寄付は1億3714万9千円)、前年度繰越金・そのほかが4606万5千円です。

国内外で苦しんでいる人びとを救うため、皆さまから託されたご寄付を活用しています。

その他の費用 1884万5千円

次年度の活動

次年度当初の活動のために使われる資金です。

事務のための費用 8249万1千円

事務管理

組織運営、施設整備などに使われた費用です。

広報活動のための費用 3252万2千円

広報・普及活動

会員への参加の呼びかけや寄付の募集、赤十字思想の普及啓発のために使われた費用です。

歳出合計

2億  
6098万3千円

12.5%

31.6%

7.2%

48.7%

苦しんでいる人びとを救うための費用

1億2712万5千円

国内外における救護活動 5984万1千円

国内災害対応のための訓練や災害救護装備の整備強化、国際活動、看護師養成などに使われた費用です。



ボランティアや青少年の育成 4536万0千円

地域活動やマンパワーの育成に使われた費用です。



救急法などの普及 2192万4千円

保健医療や安全な暮らしのためなどに使われた費用です。



## 平時における赤十字の活動

物資の整備



災害に備えた訓練



知識や技術の普及



ボランティアなどの育成



普及啓発



## あなたのご寄付でできること

皆さまからのご支援は、赤十字のさまざまな活動や救援物資の購入などにカタチを変えて、困っている人たちに寄り添います。

3,000円 ▶ 安眠セット / 1人分



5,000円 ▶ 緊急セット / 1セット4人分



30,000円 ▶ 心肺蘇生訓練人形 / 1体

避難先での生活を少しでも快適に過ごしていただけるよう、キャンピングマット、枕、アイマスクなどが一式収納された「安眠セット」を1人分備えることができま

す。

日本では、7分に1人が心臓突然死で亡くなっています。突然の心停止に陥った人を救う「心肺蘇生」を学ぶための器具「心肺蘇生訓練人形」を準備することができます。



## 赤十字会員、表彰制度、税制上の優遇措置

※詳しくは、青森県支部ホームページをご確認ください。

### ■ 赤十字会員は次の権利があります。

- ・日本赤十字社の役員および代議員を選出し、ならびにこれらの者に選出されること。(ただし法人会員には被選挙権はありません。)
- ・毎事業年度の日本赤十字社の業務および収支決算の報告を受けること。(公告をもってこれに代えることができます。)
- ・日本赤十字社に対し、その業務の運営に関し、代議員を通じて意見を述べること。

そのほか、会員にご加入された方には、年2回、日本赤十字社の会員誌「クロスコムブック」を送付しています。

### ■ 表彰の特典があります。

赤十字活動資金(会費・寄付金)に多額のご協力をいただいた場合は、日本赤十字社や国の表彰制度により、寄付者のご意向を確認のうえ、贈呈または国に対し授与申請をいたします。

10年以内にご協力いただいた会費の総額が2万円に達した会員には、ご意向を確認のうえ、特別社員の称号を贈るとともに、個人である会員には特別社員章を贈ります。

### ■ 所得税などが優遇されます。

年額2,000円を超える会費・寄付金のご協力は、所得税および個人住民税の優遇措置が受けられます。

詳しくは、お近くの税務署、税務相談室や税理士にご確認ください。



会員誌「クロスコムブック」



表彰品の一例 ▶

## 厳冬期訓練を実施しました!

青森県支部では、1月18日と19日の2日間、「厳冬期災害における救護活動の食事と睡眠」をテーマに厳冬期訓練を行いました。

災害時、赤十字救護班は被災地に数日間滞在し、様々な救護活動を展開します。厳冬期においても救護班の活動を維持するため様々な検証することを目的にこのほど実施しました。

訓練には、支部職員のほか赤十字ボランティアリーダーも参加。また、日赤鳥取県支部からも訓練視察を兼ね2名の職員が参加。支部駐車場および車庫などを使用して、救護班活動拠点用テントの設営訓練や、各種熱源の効率、低温環境下での活動中の体調変化、宿営時の寝具等の検証を行いました。

検証を経て、実際に極寒時に救護活動を展開した場合、現在支部が整備している資機材で問題なく使用できるかどうかや、野外での救護本部等の設置方法を確認することが出来ました。

今回の訓練結果をもとに、今後の支部救護活動に活かすため、資機材の整備計画などを必要に応じ見直しを行うこととしています。



## 支部職員をラオス人民民主共和国に派遣!

青森県支部では、このほど救急法普及支援事業のため職員1名(救急法指導員)を2月22日から3月2日までの期間、ラオス人民民主共和国に派遣しました。

インドシナ半島内陸に位置する東南アジアの国、ラオス。インフラ整備が不十分なことから、地方部では洪水や地滑り等の自然災害が頻発しているほか、都市部では経済発展に伴い道路交通量が増える一方で、スピード超過や飲酒運転による交通事故が多発しています。

日本赤十字社では、2019年から国際赤十字・赤新月社連盟を通じてラオス赤十字社の支援を開始し、心肺蘇生や止血、骨折の手当など、応急手当に必要な知識と技術を広めることで、ラオスの人々の健康で安全な暮らしを守ることを目指しています。

今回の派遣は、救急法普及に関わる地域の課題や赤十字事業のさらなる向上に資する方途について相互に学びを深めることと、日赤の救急法等普及事業及び国際活動の中核となる職員を育成することを目的に、当支部の職員1名を含み5名の日赤職員が派遣されました。



## 赤十字は動いてる! 特殊奉仕団が厚生労働大臣表彰と青森県知事表彰を受賞しました

1月23日、青森県庁において社会福祉活動やボランティア活動に功績のあった県内11個人4団体に対し、厚生労働大臣表彰と知事表彰の伝達が行われました。

このたび、栄えある表彰を受けられた赤十字奉仕団は次の4団です。

### ●厚生労働大臣表彰(ボランティア功労者部門)

- ・日本赤十字社青森県支部水上安全法奉仕団  
(委員長：江良直志)
- ・青森県点訳・音訳ディジー編集赤十字奉仕団  
(委員長：中井 瞳)

### ●青森県知事表彰(ふれあい活動功労者部門)

- ・日本赤十字社青森県支部救急法奉仕団  
(委員長：西村芳樹)
- ・日本赤十字社青森県支部アマチュア無線奉仕団  
(委員長：佐藤 眇)

今回表彰を受けられた奉仕団は、それぞれの分野で地域に根ざした活動を続け、地域社会の安心と安全の支えとなる存在として貢献してきました。今後もその活動がさらに広がり、地域を支える大きな力となることが期待されています。

表彰を受けられた奉仕団の皆さん、このたびは誠におめでとうございます。これからも赤十字の理念のもと、共に力を合わせながら活動をさらに充実させていくよう願っております。今後とも、よろしくお願ひいたします。



## 令和6年度青森県青少年赤十字高校リーダー研修会が開催されました

1月7日から9日、五所川原市の県立梵珠少年自然の家にて、「令和6年度青森県青少年赤十字高校リーダー研修会」を2泊3日の宿泊形式で開催しました。

本研修会には、県内の青少年赤十字高校生メンバー20名に加え、運営に携わるスタッフとして、各高校指導者、青少年赤十字OGメンバーも参加しました。

本研修会は、より赤十字への理解を深め、青少年赤十字活動を主体的に行うリーダーとしてのスキルを身に付けてもらうことを目的としています。

また、今回は頻発する自然災害に対して自分達に出来ることを学びたいという高校生からの意見をもとに、研修テーマを「防災」として、災害に対する知識や備えについて学びました。

3日間のプログラムを終え、参加者からは「不安な気持ちと緊張でいっぱいでしたが、仲間と打ち解けることによって視野が広がり、気づき、考え、実行することが出来るようになりました」、「県トレは自分の幅や可能性を広げてくれる大好きな場所です」などの感想が寄せられました。

# 【Pick Up】青森県支部からのお知らせ



大阪・関西万博に「国際赤十字・赤新月運動館」を出展します。

2025年4月13日から10月13日までの184日間にわたり、大阪夢洲を会場に大阪・関西万博が開催されます。

160を超える国・地域・国際機関をはじめ、企業やNGO/NPO、市民団体等が、「いのち輝く未来社会へのデザイン」をテーマにパビリオンで紹介します。

今回、赤十字は「国際赤十字・赤新月運動館」として国連などの国際機関と同じ区画にパビリオンを出展します。

テーマは「人間を救うのは、人間だ。～The Power of Humanity～」をコンセプトに、世界の人道危機、そこに立ち向かい、立ち上がる人々のヒューマンストーリーを通して赤十字の使命と人間のチカラを感じるパビリオンです。

パビリオン出展を通じ、人道危機で平穏な日常を奪われることの理不尽さと、それに苦しんでいる人の存在を自分ゴトとして感じていただきたい。そして、その現実に立ち向かう勇気と、苦しんでいる人を救うことの大切さに気づき、誰かのために自分ができることがあると感じ、一步を踏み出すきっかけになることを願っています。

日本赤十字社「大阪・関西万博」ウェブサイト  
<https://expo2025.jrc.or.jp/>



赤十字パビリオン 外観イメージ



赤十字パビリオン Zone 2 のイメージ

**訃報** 当青森県支部、副支部長 工藤順巳様(93歳)が令和6年12月12日に逝去されました。  
氏は、平成17年に副支部長に選出され19年の長きにわたり、当支部事業の伸展に卓絶の功績を残されたことから、令和5年6月に役職員功労による日本赤十字社金色有功章を受章されました。  
ここに謹んで哀悼の意を表します。

## 「ちょこボラ」募集中！当支部で個人ボランティア活動を始めてみませんか？

あなたの力が必要です！私たちの活動に参加しませんか？  
日本赤十字社青森県支部ではただいま、個人ボランティアを募集しています。あなたの力が、災害支援や地域づくりの成功に繋がります。

- 活動内容**
- ・災害支援
  - ・赤十字講習及び赤十字防災セミナー普及活動のサポート
  - ・献血キャンペーンのサポート
  - ・地域イベントの運営補助など

\*詳しくは当支部ホームページで確認してください。  
(お問い合わせ) 日赤青森県支部総務課  
TEL 017-722-2011まで



## 令和7年度 赤十字会員増強・活動資金増収運動 実施中！

赤十字会員への加入、会費・寄付金へのご協力をお願いします。

青森県内の赤十字関連の情報を中心に発信していきます。  
赤十字の輪を広げるために、皆さんフォローをお願いします！



<https://twitter.com/nissekiaomori>  
<https://www.facebook.com/nissekiaomori>  
[https://www.instagram.com/nisseki\\_aomori/](https://www.instagram.com/nisseki_aomori/)

▼X(旧Twitter)

▼Facebook

▼Instagram



## 献血にご協力くださる皆さんへ

### 【献血ルーム受付時間】

#### 青森献血ルーム

- 成分献血／9:15～11:50、13:45～16:20
- 全血献血(400・200ml)／9:15～12:45、13:45～17:00
- 定休日／12月31日、1月1日、毎週火曜日(令和4年10月より)

- 青森献血ルーム ☎ フリーライン 0120-649-489 青森市長島1丁目3番1号 日赤ビル4階
- 弘前献血ルーム「CoCoSA(ココサ)」 ☎ フリーライン 0120-768-489 弘前市駅前町8-1 大町タウンビル2階
- 青森県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>

#### 弘前献血ルームCoCoSA

- 成分献血／9:30～11:50、13:45～16:20
- 全血献血(400・200ml)／9:30～12:30、13:45～17:00
- 定休日／12月31日、1月1日

